

さるびあ通信



「働き方」は「生き方」

八幡浜市教育委員会教育指導主幹 塩見 孝

毎年、春と秋に、定期的に学校訪問を行っています。もちろん、それ以外でも学校にお邪魔する機会があります。また、様々な会議や研修等で、教員と接する機会があります。教育委員会に所属し、現場の教員を客観的に見る機会に恵まれ、改めて、「八幡浜の教員」は、真摯に自校の教育活動に取り組んでいると感じています。それは私にとって誇りです。



さて、世間では、教員の働き方が問題になっています。経済協力開発機構（OECD）の「国際教員指導環境調査」の結果が公表され、新聞には「教員多忙世界一」の見出しが目立ちました。

しかしながら、教員の仕事は、目の前に子どもがいて、背景に家庭があります。地域性や日本の文化も感じます。何より、子どもを中心に据えた保護者や教員など様々な立場からの思いや願いがあり、それが「教育」という営みでつながっていくのです。

学校の働き方改革の流れを受け、

- ① いいチャンスと捉えて、業務改善に努める側面
- ② 教員の主体性に任せる側面

このバランスが大事だと思っています。教員の「働き方」は、一人一人の教員の「生き方」と言っても過言ではないと考えます。

保護者や地域の皆さん、問題や課題と感じられる点は遠慮なく申し出ただきながらも、今後とも一人一人の「八幡浜の教員」の「生き方」を支援してください。それが、きっと子どもたちの幸せにつながっていくはずです。



第1回八幡浜市いじめ対策委員会開催

令和元年度第1回八幡浜市いじめ対策委員会を6月28日（金）に市役所保内庁舎で開催いたしました。

まず、各ブロックから本年度の取組内容（裏面参照）について報告がありました。あいさつ運動や子育て教室の開催、地域独自の活動など、どのブロックも充実した活動が行われていると感じました。そして、本年度の活動方針を決定するとともに、「いじめのないまちづくり」のための提言を見直し、「スマートフォンやゲーム機等の安全・安心な利用のための提言」について確認しました。

今後とも、地域をあげて、子どもたちの健全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度の活動方針(活動の方向)

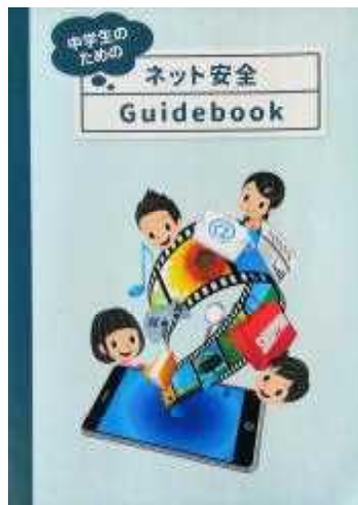
- 「あいさつ運動」を継続し、いじめ根絶を目指す活動を行う。また、子どもの安全を確保し、児童虐待防止に努める。
- 保護者対象の「いじめ問題に関わる意識調査」を実施するとともに、家庭教育の充実を図る取組を進める。
- 「スマートフォンやゲーム機等の安全・安心な利用のための提言」（裏面参照）を各家庭で取り組む。また、最新の全国傾向や本市の児童・生徒の実態を踏まえた提言となるように見直しを図る。
- 不登校または不登校傾向児童生徒への適切な対応を進める。
 - ・学校と家庭や関係機関等との連携を図る。
 - ・『きりんカフェ』（登校しづらいお子さんをもつ保護者の会）を継続する。
- 心のふれあいやつながりを深める地域活動を進める。
- 集団生活を通して、よりよい人間関係づくりに努める。
- 安全確保に努める。（危機管理の徹底）

市内中学全生徒へ 「ネット安全ガイドブック」 贈られる！

インターネット被害から子どもたちを守り、正しく使って便利で快適な日常生活が送れるよう、公益財団法人日本公衆電話会から、6月26日、八幡浜市に、中学生がネットを安全に利用するための啓発図書「ネット安全ガイドブック」が贈られました。

同ガイドブックは2章からなり、第1章「インターネットが世界を変えた」では、身近なところで新たな展開をみせるパートナーロボットをはじめ自動運転車、キャッシュレス社会、スマートホームなどの現状や実現後の生活の変換などを解説しています。第2章は、「インターネットって、本当に安心して利用できる？」をテーマに、中学生が実際に巻き込まれた事件をもとに、個人情報の大切さや知的財産の存在、個人の社会的信用の失墜、家族生活・友人関係の破綻等、ネット上での安易な行動が引き起こす問題を提起し、予防や緊急時の対応などについて触れています。

近く市内の全中学校生760人全員に配付されます。このガイドブックを学校や家庭で有効に活用し、生徒たちが被害者にも加害者にもならないよう導いてくれることを願っています。



広報「やわたはま」

つなぐ・つながる

市内の各小・中学校は、健全育成やいじめ・不登校の未然防止等を図るために、様々なつながりを作り、深めてきました。それらの取組の中から、特色ある取組を紹介します。

- 9月 ---- 松柏中
- 10月 ---- 双岩小
- 11月 ---- 松蔭小
- 12月 ---- 川上小
- 1月 ---- 白浜小
- 2月 ---- 神山小
- 3月 ---- 真穴中

お楽しみに！

市いじめ対策委員会では、平成8年より「三層の情報環流方式」を生かした協議を重ねながら、「いじめのないまちづくり」のための提言を行い、様々な取組を地道に進めてきました。そして、「あいさつ運動の輪の広がり」「心のふれあいを深める地域活動」「スマートフォンやゲーム機等の安全・安心な利用のための提言』を踏まえた取組」などの実践を継続してきました。

今年度、これまでの18の提言について、「いじめの根絶、虐待防止」に焦点を当て、より明確になるよう12の提言に集約しました。

市民総ぐるみで、令和の時代を生きる子どもたちの健やかな成長を見守り、心豊かにたくましく育ってくれることを期待しています。

「いじめのないまちづくり」のための提言（改訂） ～市民みんなで、「いじめや虐待のないまちづくり」を進めましょう～

《八幡浜市民に向けて》

- (1) あいさつの響くまちをつくりましょう。
- (2) 子どもの安全を確保するとともに、児童虐待防止に努めましょう。

《家庭に向けて》

- 家庭教育の充実を図りましょう
- (1) 家庭内対話とふれあいを大切にしましょう。
 - (2) 子どもに、情報通信機器の正しい使い方を教えましょう。

《学校に向けて》

- 集団生活を通して、よりよい人間関係をつくりましょう
- (1) いじめを積極的に認知して、早期解決を図りましょう。
 - (2) 道徳教育の充実を図りましょう。
 - (3) 子どもと向き合う時間を多くつくりましょう。

《地域社会に向けて》

- 地域の子どものは地域で育てましょう
- (1) 心のふれあいを深める地域活動を進めましょう。
 - (2) 地域の伝統や文化を子どもたちに継承しましょう。
 - (3) 安全な地域環境作りを進めましょう。

《行政に向けて》

- 「三層情報環流方式」を効果的に機能させていきます
- (1) 学校・家庭・地域社会の活動を側面から支援します。
 - (2) 実態把握、課題を踏まえた施策を推進します。

スマートフォンやゲーム機等の安全・安心な利用のための提言

- 提言1 午後9時以降は使わない。
提言2 正しい使い方を知り、正しい行動をする。

【重点取組事項】

- 午後9時以降は使わない。
- 必ずフィルタリングを設定する。
- 家庭のルールを作る。



令和元年度 各ブロックいじめ対策委員会の活動

ブロック名	あいさつ運動	子育て教室等	地域（独自）の活動	広報活動	その他（安全）
愛宕ブロック 子育ての会	あいさつ運動 保護者、小中、地域との 連携	意見（情報）交換会	地域行事への参加 家庭内対話の充実		チーム白浜 まもり育てる日の活 動（年4回）
八代ブロック 子ども育成会	あいさつこだま運動 （毎月20日、年間8回） （あいさつこだま啓蒙の活用）	情報交換の充実 学期ごとの定例会の実 施（年3回）	登下校時の交通安全の推進 ふれあい交流会（公民館）		見守り活動 まもり育てる日の活 動（年3回）
松柏ブロック 子育て推進の会	あいさつふれあい活動 （8箇所、毎月5日）	ふれあいいいき講座 （ネットキャラバンの実施 ～1/20）	ふれあいクリーン作戦 （4コース、1/5）	「あおぞら通信」 の発行（7・3月）	見守り隊 まもり育てる日の活 動（年3回）
真穴の子どもを 育てる会	さわやかあいさつ運動 （6月から20日前後の4 日間、8・12月を除く）	親子ふれあい運動（11月） 小：お手伝い月間 中：お手伝い週間	地引き網交流会（6/29） （川之内公民館と交流） 海浜清掃（10/17）		見守り隊 まもり育てる日の活 動（年3回）
保内ブロック 子ども育成会	あいさつ運動 6月～2月（毎月20日）	健全育成にかかわる情 報交換の充実	各地区をきれいにする運動 （各地区で6・10月実施）	広報紙「ほ・ない」 の発行（12月）	見守り隊 まもり育てる日の活 動（年3回）

内子町特別支援教育講演会のご案内

内子町特別支援連携協議会より、発達支援に関する講演会の案内がありました。近年、ネットやSNS等への依存が問題化していますが、特に『ゲーム障害』についての講演です。参加を希望されます方は、7月17日（水）までに教育支援室（☎21-6864）までお申し込みください。

日 時 令和元年8月2日（金）13:30～15:30（受付開始13:00）
場 所 内子町共生館（五十崎自治センター） 住所：内子町平岡甲185-1
演 題 『ネット・ゲーム依存症の実態と対応について』
～依存させないために家庭や学校が出来ること～
講 師 三原 聡子 氏 久里浜医療センター ネット治療部門（臨床心理士）
参加料 無料

『ゲーム障害（WHO）』 治療を必要とする依存症

- ゲームの時間や頻度をコントロールできない。
- 日常生活よりゲームを最優先にする。
- ゲーム中心の生活が1年以上続いている。

『ゲーム依存行動』は、ゲームをすることで脳に快感物質を出させ、それが日常となり、快感物質が出ないのが異常だと判断して、ゲーム行動へと脳が誘ってしまう。

子どもの脳は、欲望を抑える部分が発達途上であり、理性より欲望が勝り、依存しやすい傾向がある。

ひとりで悩んでいませんか？ お気軽にご相談ください。

☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室）
☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00

☆ いじめ110番（八幡浜市教育委員会教育支援室）
☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00

☆ いじめ相談ダイヤル24（愛媛県教育委員会）
☎ 0120-0-78310 24時間受付



☆ 警察安全相談（八幡浜警察署）
☎ 0894-22-0110 24時間受付

☆ こどもの人権110番（法務局）
☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15

☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省）
☎ 189（いちばやく）児童虐待通報電話 24時間受付

